
StEaL

キッチンタオル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Steal

【Nコード】

N8148A

【作者名】

キツチンタオル

【あらすじ】

高校最後の学園祭で一瞬の輝きを魅せたバンド「around」学園祭から1年後「around」のメンバーは目標をもたずに毎日を送らだらと過ごしていた。彼らはもう1度あの時の「輝き」を取り戻せるのだろうか。

第1話 走れっっ!! (前書き)

初めて書きました。優しい目で見てください笑

第1話 走れっっ!!

「おいっ!! はやく走れ伸っ。」

「2日酔いの人間を走らせるのが間違いだろ」

「とりあえず今は逃げるしかねえんだよっ!!」

「もう少しで準希の車が見えてくるはずなんだけど…」

慌てて携帯電話を取り出し電話をかける

「準希っ!! お前今何やってんのよ?」

「ああ、寝てた。」

ああーっっ!!???

走れえーっっ!!!!

ーーーーー体育館中をうめつくす熱気

今でも忘れる事ができないあの胸の高鳴り

初めて

「around」

がバンドとして一つになれた気がした

高校最後の学園祭で魅せた一瞬の輝き

――
から1年後

「around」

に学園祭で見せた輝きはみじんも残っていないく、どこにでもいるようなコピーバンドになっていた

「おいっ、こらっ。待たんか。そいつら万引き犯です誰か捕まえて下さい!!」

「誰だよ店からCDパクってぼろ儲けだなんてバカな事考えたの」

「確か光だったよね?ここまで単純な作戦考えるのって光しかないよね」

「単純でバカな作戦にまんまと乗った酒にしか興味がない男と頭まです筋肉でできてる様な男はこの誰ですかね?儲けた金でワインがぶ飲みしてプロテインで筋肉つけるんだったよね?」

2人共黙る

「お前らもだけど準希だけは許せねえ」

後ろでヒソヒソと話をはじめる2人

「ねえ、伸。何か今日の光は恐いくらい気合い入ってるね」

「そりゃそうだろう今日失敗したら家賃払えなくなるし。優の筋トレ

レする場所もなくなるかもな」

「それは困るよ。ねえ光追って来る人数も増えてきてるし、とりあえずここは3人バラバラに逃げたほうがいいんじゃないかな。」

「そうだな、じゃあお前らうまく逃げきれよ。夜に部屋集合な。」

「了解」

「わかったよ」

これが全てのはじまりだった

第1話 走れっっ!! (後書き)

感想・ご指摘よろしくお願いします。

第2話 声にならない

Z Z Z。。。。Z Z Z。。。。。

「準希起きろッ！ゴルアアッ！！」

光の声に床で寝ていた準希が気付きゆっくりと目を開けた

「うるせえな。」

「うるせえなだど！？お前が起きて時間通りにあの場所に来てたら俺らは全力で逃げなくてもよかったんだよっわかってんのか？お前は今回だけじゃない前から…」

「わーっかったよ。次から気をつける。」

「気をつけるだけじゃねえだろ？謝れよ俺ら3人に。」

「ふうっ。。。いいじゃん。逃げ切ったんだから。」

あっやばいキレるゝ笑

光は準希の胸ぐらを掴み右手を振り上げた。

「優おさえろ。」

「うん。わかった。」

2人で光をおさえこむ

その横で煙草に火をつける準希

「何でとめんだよ？お前ら言いたい事ないのかよ？」

「だって準希だからな」

「準希も反省してるみたいだしね。」

準希が盗んできたCDの中にあつた1枚を取り出し曲をかけた

「お前らは甘すぎるんだよだから毎回毎回問題が…」

スピーカーから流れでるそのメロディーに光は息をのんだ。

騒然とした部屋が一変し気が付けばみんな曲を聞き入っていた。

曲を聞き終わってから4人は目を丸くしそれぞれ顔を見わせた。

「ああアッーーーーー」

言葉にならない。自然と全員叫んでいた。

全く聞いた事がない曲

けど……

知ってる。

4人が音楽を始めるキツカケになった声

1度聞いたら忘れる事ができない声

叫んだ後4人はその場に立ち尽くしていた。

はじめて彼の歌声を聞いたあの時のように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8148a/>

StEaL

2010年10月10日04時32分発行